

臨床研究へご協力をお願い

1) 研究課題名

慢性肝疾患における生活習慣病と予後との関連に関する調査

2) 研究の意義と目的

肝臓は糖や脂肪分などの栄養を代謝するための重要な臓器です。そのため肥満やメタボリックシンドロームから発症する高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病と慢性肝疾患はお互いに大きな影響を与えると考えられています。例えば、慢性肝炎に糖尿病を合併した場合、肝臓癌の発癌率が高くなり、非アルコール性の脂肪肝炎が存在した場合は心筋梗塞などのリスクが高まるという報告がされています。

本研究では慢性肝疾患における生活習慣病の合併頻度と慢性肝疾患や生活習慣病の予後を明らかにすることを目的とします。

3) 研究方法

単施設における観察研究

研究対象者

慢性肝疾患（C型肝炎、B型肝炎、アルコール性肝障害、脂肪肝、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎、自己免疫性胆管炎、IgG4関連胆管炎、ウィルソン病、肝ヘモクロマトーシス、うっ血肝、バッドキアリー症候群、特発性門脈圧亢進症、移植片対宿主病（GVHD）による肝障害、肝内結石症、嚢胞性肝疾患）のある患者

1) 研究期間

対象患者の受診時期：2000年1月1日～2018年12月31日

登録期間：本研究実施に係る承認を受けてから2018年12月31日

研究期間：本研究実施に係る承認を受けてから2020年12月31日

2) 研究方法

対象者を匿名化した上で、臨床データを収集します。治療前の基本情報、治療中のデータの推移、画像データを解析します。

3) 個人情報の保護

診療情報は個人情報として、外部に漏れないように厳重に取扱います。本研究の成果は、個人を特定できない形で学会発表および学術論文にて発表させて頂く予定です。

本研究は、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で承認された研究で、対象となる患者さんから同意書を取得していない観察研究です。個人情報は完全に守秘され、研究成果の発表により、個人が特定されることは決してありません。該当する方でご自身

の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先に申し出てください。この場合も、診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

研究責任者 安西 慶三

所属 佐賀大学医学部附属病院 肝臓・糖尿病・内分泌内科

研究事務局担当者 高橋 宏和

所属 佐賀大学医学部附属病院 肝臓・糖尿病・内分泌内科

Tel 0952-31-6511 (病院代表)

このお知らせは、当院臨床研究倫理審査委員会承認日より平成32年12月31日までの間、研究対象となる患者さんへの情報公開を目的に佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページ（HP）で掲載しているものです。

臨床研究センターHP:<http://www.hospital.med.saga-u.ac.jp/chiken/>

なお、この研究内容は、佐賀大学の所定の委員会で審査を受け、承認されたものであります。臨床研究センターHPでは、当委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。